

場所にとらわれず、
仲間とやりたい仕事をする働き方

【インタビュープロフィール】

- ・氏名：千田 菜月（ちだ・なつき）
- ・年齢：30
- ・出身：青森市（Uターン）
- ・現在の居住地：青森市
- ・移住前の居住地：東京
- ・いつから移住：2020年8月～
- ・職業：営業代行フリーランス



コロナ禍を機に働き方がオンラインへ

2019年7月から**フリーランスの営業代行**として現在の働き方を始めました。コワーキングスペースの開発や提携店舗の開拓、企業へコミュニケーションスキル向上のためのオンライン研修の導入提案など、企業から委託を受けた営業代行が主な仕事です。

独立する前は東京の人材会社で働いており、**リモートワーク**の制度があったので毎日の通勤もありませんでした。



コロナ禍を機に働き方がオンラインへ

フリーランスとして東京を拠点に全国を飛び回って働いていましたが、**コロナウイルスの影響で自宅からオンラインでの商談や打ち合わせをする機会が増えました。**

2020年8月、東京の夏が厳しかったこともあり、青森でも同じような働き方ができるのでは？と考え、**東京と青森の2拠点**での生活に。現在は青森を拠点にしてフルリモートで仕事を行い、東京で仕事があるときにはホテルステイを楽しんでいます。



青森に居るからって 青森の仕事をする必要はない！

久しぶりに青森の冬を体感していますが、こんなに寒かったっけ?!と驚いています。現在は東京の仕事が大半で、**東京の仕事を青森でやっている状態**です。

必ずしも青森に居る必要はないですし、青森のなかでもスキー場やリゾート地など、**どこでも好きな場所で仕事できるので自由なところがいいですね。**好きなことをやりながら収入があるって魅力だなと思います。



青森に居るからって **青森の仕事をする必要はない！**

青森に帰るなら青森の仕事をしなきゃ、
と思う人がいるみたいですが、わたしは
必ずしも青森の会社で働く必要はないと
思っています。

場所にとらわれずに、自分がやりたい仕事ができる環境を作っていくことが大切です。

一方で、青森県内でのリモートワークができる環境が整っていないことが気になっています。

街なかでリモートワークができる環境はまだまだ足りないなと体感していますし、雪国で外出するのが大変だからこそ、県内企業でもリモートワークができるようになるといいなと思います。



目指すは海外でのリモートワーク！

2022年くらいから海外に行こうと思っています！

海外に居ながら今の働き方が続けられるように準備期間です。

また、現在は、県外にいるパートナーと協力して仕事に取り組んでいます。今後も一法人として人を雇用するのではなく、**必要なときに都度チームを作ってプロジェクトに取り組む**パートナーを世界中に増やしていけたらと考えています。



移住を考えている方へメッセージ

東京の企業に勤めている方は、働きながら地方に帰ることに寛容だと思うので、**会社の制度を使ってリモートワーク**を試してみてもいいと思います。

また自治体へのお願いですが、青森県内の企業はリモートワークを導入していない企業が多い印象があります。

まずは自治体からリモートワークに取り組み、さらに県内企業に働きかけて、県内企業のリモートワークが推進されるといいなと思います。

そうなればもっとUIターンハードルが下がると思います。

